事業仕分けの結果・その後の状況 (H23年度)

年度No	事業名	仕分け結果		検討結果	その後の対応
H23-1	健康づくり人材	①不要	1	修了者で結成したサポーターの	5つのグループに分かれ、それぞれ のテーマで活動をし、全体会を3か
	育成事業 (健康サポー	②民間等		会の広報をする。 同会が独自に健康増進活動を	月ごとに開催しており、職員も参加
	ター事業)	③国•県		行っていくことを支援する。	し支援している。自治会長、健康推 進員等ににサポーターの周知をし、
		④町継続(改善)	5	健康推進員=健康サポーター は考えていない。	町報、TCCで活動の紹介を行った。 健康推進員は従来通り、自治会を
		⑤町継続(現行)		114分え C いるい。	中心に健康づくりをお願いしている。
	再生資源収集委	①不要		分別品目の増加は費用対効果	ごみの減量化について、町報、環境学 習会に加え、平成25年度のごみ収集日
	託事業	②民間等		を検証し、住民の理解を得た上で検討する。	程表にごみ減量化に関する記事を掲載しる等、「4R」について周知を強化。
		③国•県		返還ルートの確保は困難。ゴミ	また、現在、中部圏域で鳥取中部ふると はと広域連合が主体となり、「ゼロエミッ
		④町継続(改善)	5	発生を抑制する取り組み「4R」 について周知を強化する。	ション推進事業」を進めており、「小型家
		⑤町継続(現行)	1		電」等新規の分別品目設定についても 検討を行う。
H23-3	婚活支援事業	①不要	2+1	地域の活性化には必要な事 業、H24以降は事業経費の縮小	H24年度は町としての事業を
		②民間等	1	未、F124以降は事未在負の幅小 を行い継続する。	取りやめた。 今後は婚活支援「マドンナ」
		③国•県	2	H24は臨時職員1名と担当者の	が行う、相談会の告知など
		④町継続(改善)	1	態勢でより一層の周知充実を図る。	活動支援を行うことした。
		⑤町継続(現行)			
H23-4	図書館運営事業 (北条分室)	①不要	5	生涯学習の拠点の一つとして確立されている。廃止は時期尚	中央公民館利用者の活動のサポートなど生涯学習振興のため、例えば
	(和宋万里)	②民間等		早。	子供向けには、昆虫標本展やビデオ上映会、しおり作りなど随時実行
		③国•県		利用時間、セキュリティー等の	している。利用者のニーズを支援で
		④町継続(改善)	1	問題があり、区別して運営すべ きである。	きる取組みに努めている。また。本 館と分室で同一の特集に組むなど
		⑤町継続(現行)			互換性を図っている。
H23-5	由良川イカダ レース実行委員 会補助金事業	①不要	1	仕分け意見を取り入れ将来に わたり継続可能な事業として見 直しを行う。	参加者の意見交換会を実施し、実 行委員会を3回実施して検討した。 イカダ作製・修繕に経費がかかるこ とから、寄付金を募るなど収入を確
		②民間等			
		③国・県		報償費、実行委員会についても 検討を行う。	保しつつ参加賞を増額し実施し、参
		④町継続(改善)	5	快削で打り。	加チームも増えた。しかし、参加者 負担がない・実行委員会が形にな
		⑤町継続(現行)			らないなど運営に問題がある。
H23-6	民芸実習館事業	①不要	1	講習会を開催するなど広く町民に 呼びかける。	要望のある陶芸教室初級編、中級 編をPRしながら実施し、利用増を
		②民間等		町報・HP等を活用しながらPRを	図った。また、機械修理を行い、新 たに木工教室を実施し、サークル化
		③国•県		行う。 利用料は原材料費、陶芸の燃料	へとつなげた。また、要望を生かし
		④町継続(改善)	5	費等の実費は個人負担とする。	新たに絵画教室を実施しサークル として立ち上げ、実習館利用増へと
		⑤町継続(現行)			つながっている。
H23-7	北条砂丘公園セ			「希望の館」利用促進のため情報	希望の館は施設の特長や利用料金
	ンター管理事業	②民間等	1	「北条道の駅」は長期的対策と短期 用促進に動 的対策に区分けし、今後の振興策 道の駅北	等を町ホームページに掲載して利 用促進に努めている。
		③国·県			道の駅北条公園の振興策について は短期的にはH24にトイレ修繕・照
		④町継続(改善)	5	を検討していく。 【短期】集客増対策をH24予算で	明設置等を行い、利用しやすいよう改善した。長期的には民間投資の
		⑤町継続(現行)		【長期】抜本的な方策を模索 使用料・管理方法は研究する。	動向を見て検討することにしている。
H23-8	広報事業	①不要		広報全般について、公聴システム 広報に関する公聴システムの活を活用し今後のあり方を検討する。 モニター制度、アンケートは検討する。 広報紙はコンパクトでシンプルな紙面にしていく。 広報委員会を活用し、情報発信を強化する。 広報を関する公聴システムの活 モニター制度・アンケートは現在 施していない。 「広報北栄」は内容を精査し、領のページ数を削減した。(H23 平 28ページ/月 H24平均22ページ H25 20ページ/月) 広報委員会は随時開催し、各該当に情報発信の強化を呼びか	広報に関する公聴システムの活用・
		②民間等			施していない。
	ļ	③国•県			のページ数を削減した。(H23 平均
		④	6		28ページ/月 H24平均22ページ/月 H25 20ページ/月)
		⑤町継続(現行)			広報委員会は随時開催し、各課担 当に情報発信の強化を呼びかけて
					いる。